

こんにちは。

新メカニズム情報プラットフォーム事務局です。

◇トピックス◇

■□ 政府機関の報道発表

□ 平成 27 年度二国間クレジット制度を利用したプロジェクト設備補助事業の二次公募について (お知らせ) (環境省)

□ 強化された行動のためのダーバン・プラットフォーム特別作業部会第 2 回会合第 10 セッション (ADP2-10) の結果について (お知らせ) (環境省)

□ 小里環境副大臣のアジア太平洋 3R 推進フォーラム第 6 回会合 (モルディブ) への出席及びタイ訪問について (結果概要) (環境省)

□ 「途上国における森林の減少・劣化の防止等への我が国企業の貢献可視化に向けた実現可能性調査事業」採択候補案件を決定しました (経済産業省)

□ 国際再生可能エネルギー機関 (IRENA) との共催による「小島嶼開発途上国 (SIDs) における再生可能エネルギーのためのファイナンスワークショップ」の開催結果について (お知らせ) (環境省)

■□ 関連ニュース

□ 平成 27 年度「地球温暖化対策技術普及等推進事業」(JCM プロジェクト実現可能性調査、MRV 適用調査、JCM 実証事業) に係る公募について (NEDO)

□ 「京都議定書第一約束期間終了に伴う京都メカニズムクレジットの取扱いについてのお知らせ」(環境省・経済産業省/京都メカニズム情報プラットフォーム)

■□ 事務局からのお知らせ

□ 指定第三者機関 (TPE) が公開されました (メキシコ)

◆平成 27 年度二国間クレジット制度を利用したプロジェクト設備補助事業の二次公募について (お知らせ) (環境省) ◆

二国間クレジット制度 (Joint Crediting Mechanism : JCM) に基づくクレジットの獲得を目指す「二国間クレジット制度を利用したプロジェクト設備補助事業」について、執行団体である公益財団法人地球環境センター (GEC) が事業者からの案件募集 (二次公募) を行

います。

募集期間：平成 27 年 9 月 7 日(月)～12 月 18 日(金)

事業内容：本事業は、途上国において、優れた技術等を活用して CO2 排出削減事業を実施し、測定・報告・検証（MRV）を行っていただく事業です。これにより算出された排出削減量を、二国間クレジット制度により我が国の排出削減量として計上することを目指して、事業者（国際コンソーシアム）に対し初期投資費用の 1/2 を上限として設備補助を行います。

公募の詳細はこちらをご覧ください。

⇒ 環境省報道発表：<http://www.env.go.jp/press/101419.html>

GEC ウェブサイト：<http://gec.jp/jcm/jp/kobo/mp150907.html>

◆強化された行動のためのダーバン・プラットフォーム特別作業部会第 2 回会合第 10 セッション(ADP2-10)の結果について（お知らせ）（環境省）◆

8 月 31 日～9 月 4 日、ドイツ・ボンにおいて、国連気候変動枠組条約の下の「強化された行動のためのダーバン・プラットフォーム特別作業部会（ADP）」第 2 回会合第 10 セッションが行われました。我が国から、外務・経済産業・環境・農林水産・国土交通各省関係者が出席しました。また、外務省吉田交渉官がワークストリーム 2 のファシリテーターを務めました。

（注）ADP は、2011 年末に南アフリカ・ダーバンで開催された第 17 回気候変動枠組条約締約国会議（COP17）での決定を受け設置されたもの。(1)2015 年に採択される予定の、全ての国に適用される 2020 年以降の新たな枠組み（ワークストリーム 1）及び(2)2020 年までの緩和の野心の向上（ワークストリーム 2）について議論を行う。（以下「法的合意」は「議定書、別の法的文書、又は法的効力を有する合意された成果」を、「2015 年合意」は法的合意、COP21 決定、その他文書のパッケージを意味する。）

概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/101398.html>

◆小里環境副大臣のアジア太平洋 3R 推進フォーラム第 6 回会合（モルディブ）への出席及びタイ訪問について（結果概要）（環境省）◆

小里環境副大臣は、8 月 16 日（日）から 20 日（木）にかけて、モルディブ及びタイを訪問し、アジア太平洋 3R 推進フォーラム第 6 回会合に出席するとともに、3R の促進及び廃棄物・リサイクル分野等における環境協力について、各国の政府要人と意見交換を行いました。

タイ温室効果ガス排出管理機構（TGO）視察において、プラサーストック TGO 事務局長より、気候変動緩和適応能力強化プロジェクト（CITC）や JCM における支援・協力への謝意及び活動内容と進捗状況について説明がありました。小里副大臣より、CITC がタイのみならず、アセアン地域における気候変動に関する人材育成と経験・知識を共有するプラットフォームとなることを期待する旨、発言しました。

訪問の結果概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/101393.html>

◆「途上国における森林の減少・劣化の防止等への我が国企業の貢献可視化に向けた実現可能性調査事業」採択候補案件を決定しました（経済産業省）◆

経済産業省は、二国間クレジット制度の構築等のため、平成 27 年度地球温暖化問題等対策調査事業（途上国における森林の減少・劣化の防止等への我が国企業の貢献可視化に向けた実現可能性調査事業）を公募し、外部の第三者委員による厳正な審査を経て、採択候補案件を決定しましたので、お知らせいたします。本事業では、初のベトナム案件採択となります。

採択候補案件の概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.meti.go.jp/press/2015/08/20150825002/20150825002.html>

◆国際再生可能エネルギー機関（IRENA）との共催による「小島嶼開発途上国（SIDs）における再生可能エネルギーのためのファイナンスワークショップ」の開催結果について（お知らせ）（環境省）◆

環境省と国際再生可能エネルギー機関（以下、「IRENA」。）は、平成 27 年 8 月 3 日及び 4 日、マレーシア・クアラルンプールにおいて、「小島嶼国における再生可能エネルギーのためのファイナンスワークショップ」を開催しました。

本ワークショップは、小島嶼開発途上国（以下、「SIDs」。）における持続可能なエネルギーへの移行の加速と気候変動問題の解決を目指す「国連ライトハウス・イニシアチブ」への貢献を目的に開催され、国際機関等による資金支援スキームや SIDs での再生可能エネルギー導入事例等が紹介されました。特に資金へのアクセスや人材育成等の課題や要望について活発な議論が行われ、多くの建設的な意見が共有されました。

結果概要はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.env.go.jp/press/101357.html>

◆平成 27 年度「地球温暖化対策技術普及等推進事業」（JCM プロジェクト実現可能性調査、MRV 適用調査、JCM 実証事業）に係る公募について（NEDO）◆

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、平成 27 年度「地球温暖化対策技術普及等推進事業」の実施者を一般に広く募集いたしますので、本件について受託を希望する方は、下記に基づきご応募下さい。

公募期間：平成 27 年 9 月 1 日～平成 27 年 10 月 2 日

⇒ JCM プロジェクト実現可能性調査：http://www.nedo.go.jp/koubo/EX2_100024.html

MRV 適用調査：http://www.nedo.go.jp/koubo/EX2_100023.html

JCM 実証事業：http://www.nedo.go.jp/koubo/EX2_100022.html

◆「京都議定書第一約束期間終了に伴う京都メカニズムクレジットの取扱いについてのお知らせ」（環境省・経済産業省／京都メカニズム情報プラットフォーム）◆

国別登録簿に口座を開設されている皆様に、第一約束期間の調整期間*の終了と、適用約束期間が第一約束期間の京都メカニズムクレジット（CP1 クレジット）の取扱いについて、

下記の通りお知らせ致します。

* 調整期間とは、第一約束期間の目標達成のため京都メカニズムクレジットの国際的な獲得・移転が可能な期間のことです。

⇒ <http://www.kyomecha.org/about/document.html#GOV>

◆指定第三者機関（TPE）が公開されました（メキシコ）◆

9月3日付で、日・メキシコ合同委員会による電子決済が行われました。

メキシコにおける最近の動向はこちらをご覧ください。

⇒ <http://www.mmechanisms.org/initiatives/mexico.html#recent>

◆メールマガジン・その他問い合わせは、事務局までメールにてご連絡ください。

info@mmechanisms.org

◆メール配信停止ご希望の方は、以下のページの「配信停止」より手続きください。

<http://www.mmechanisms.org/newsletter/index.html>

■□発行・編集□■

新メカニズム情報プラットフォーム事務局

一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-25-33 NP 御成門ビル 3階

URL: <http://www.mmechanisms.org> / e-mail: info@mmechanisms.org

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。